



2019年2月1日



22期東海教区女性会  
発行責任者\*坂井茂子

## 22期 主題：私たちはぶどうの枝

～～まことのぶどうの木につながって～～

私たちはぶどうの木、あなた方はその枝である  
人が私につながっており、私もその人につながっていれば  
その人は豊かに実を結ぶ [ヨハネによる福音書15章5節]

<巻頭言>

「死は、もはやキリストを支配しません」ローマの信徒への手紙6章9節b

新霊山教会 森田哲史牧師



先日、牧師となって初めて教会員の方を天へとお送りしました。また、神学校の石居基夫先生をお招きし、死生観に関する講演を行っていただいたこともあり、死について考える機会が与えられた1年目でした。そんな折、私は「コーヒーが冷めないうちに」という小説を読みました。

小説の舞台は、過去に戻れるという喫茶店。いろいろな意味で別れを経験した人たちが喫茶店を訪れ、それぞれ過去に戻っていきます。仕事で海外へ旅立ってしまった恋人、認知症で自分を忘れてしまった夫、不慮の事故で失ってしまった妹。理由はそれぞれですが、大切な人との別れによって失ってしまった何かを取り戻したいと過去に戻っていきます。

しかし、「たとえ過去に戻っても、現実を変えることは出来ない」と決められていると言うのです。

変わらない現実のために過去に戻る意味はあるのでしょうか。しかし、大切な人との再会を果たし、現実に戻った登場人物たちは、現実は何も変わっていないけれども晴れやかな顔でその喫茶店を後にして行きました。それは過去の自分自身と向き合い、心に刺さったままであった刺を抜くことが出来たということだと思いました。つまり、変わったのは現実ではなく、自分自身でした。過去に戻ることで、自分自身と向き合うことを促していたのです。

教会での礼拝や祈りにも同じような役割があると思います。礼拝や祈りは神様との対話でありますが、その中で自分自身の心を開いていき、すべてを神様に委ね、心の刺が一本一本抜かれていくのです。そのようにして私たちは死や別れを乗り越えていくことが出来るのではないのでしょうか。それが出来るのも、キリストの十字架によって私たちの罪が赦されたからなのです。

# 教区女性会の集いに参加

2018/10/20 於 栄光教会島田礼拝堂 講演 竹内俊明先生『よりそい、いやし、いのち』  
テノールコンサート 鈴木雅人氏

## ✦「IYASINの旅」自然満喫プログラム✦

早川 律子 (なごや希望教会)

去る10月20日女性会の集いに参加させて頂きました。  
竹内俊明先生のお話、鈴木雅人さんのコンサートと喜び一杯の会でした。  
そして、私はそこで勇気をもらい、次の行動を実行に移しました。  
11月14、15日に寸又峡へ行って来ました。  
娘と二人で二日間、暖かく快晴に恵まれた旅でした。  
旅館の食事はしし鍋、鹿のさしみなど、珍しい美味しい食べ物ばかり。  
温泉はつるつるすべすべ、いやしの湯でした。  
あくる朝は、森の案内人と一緒に、川のせせらぎに耳を傾けながら、  
木々のトンネルをくぐり、大木に身をゆだね、会話しながら森林浴の散策。  
寝転んで音楽を聴きながら太陽をいっぱい浴びることが出来ました。  
全てが祝福された思い出の旅は私の宝となりました。  
最後にピーちゃんこと竹内先生の奥様より、  
お帰りになったら皆様に今回の“癒しの旅”についてお伝えくださいと託されました。  
是非、自然満喫プログラムに参加してみてください。



## ✦いやされて✦

大瀧 清子 (清水教会)

講師の竹内先生の初めの言葉は、「お疲れ様！女性会に敬意をもってしています。」その後  
“野ばら”をドイツ語で歌われ、私は真面目な温かな歌声に聞き入っていました。歌が  
終わると先生は、「拍手は」会堂に大きな拍手が沸上がりました。  
茶目っ気もお持ちのようです。

先生のお話は、私にとって難しいものでした。医者嫌いのお爺さんの話、「以前見て  
もらった時、医者が遠くから来てあげたという態度であった。その時から具合が悪くて  
も医者に掛るのを嫌がるようになった。

竹内先生は、『あのような医者にはならない』と思ったそうです。  
患者さんの中には、「親が先生が上司が社会が悪い」と言う。言っている貴方が一番悪  
いと思ったりする。そして『あのような医者に自分になり下がっている』事に気付く。  
私にもこういう所あるのと思う。

先生から人生を豊かに過ごす特効薬を頂きました。「今、ここに生かされている。」こ  
のくすりに感謝と希望が湧いてきました。

## ✦ ようこそ我が教会へ ✦

寺田 幸子 (栄光教会島田礼拝堂)

この礼拝堂の広い庭が、参加者の車でいっぱいになるなんて！  
「広い庭のある島田礼拝堂でいつか集会を」という昔からの願いが、まさかこの歳（102歳）で叶うなんて・・・

当日は久々のアコライトを仰せつかり、微力ながら奉仕できたことに感謝しております。周りの方から「何に気をつけてお過ごしですか？」との質問を受けますが、「神様の御心とお導きです。」としかお答えできません。

そして礼拝出席の為に送迎してくれる家族に感謝しています。

この度の集いについては、祈りを聞き入れてくださった神様にはもちろん、ご尽力いただいた各教会や役員の方々、そして東は沼津から西は大垣まで遠いところをありがとうございました。

主を賛美し、御言葉に耳を傾け、皆の心がひとつになった素晴らしい集会でした。



## ✦ よりそい、いやし、いのち ✦ を聞いて

安達 頼子 (栄光教会藤枝礼拝堂)

最初に、ドイツ語の歌で始まった竹内兄の精神医療の難しい専門分野を噛み砕き、トツトツとユーモアを交えてのお話に引き込まれ、あっという間に終了時間になってしまいました。印象に残ったお話の中に「すべての人々が、それぞれの成長過程の時、果たすべき事がある」今からでも遅くない！そして大事な4つの事を知る。天・地・人・身  
天（人間を越えたものの存在、神、宇宙）地（自然との調和、命の素晴らしさ）  
人（人間社会、なんとか適応していく）身（心身一如） 今、ここに宇宙とつながる神さまから命をいただき、生かされ、寄り添い、癒されている日々を改めて気付かされ、幸福と感謝を感じるひと時となりました。

## ✦ 教会の庭に咲いた歌声 ✦

岡田敦子 (大垣教会)

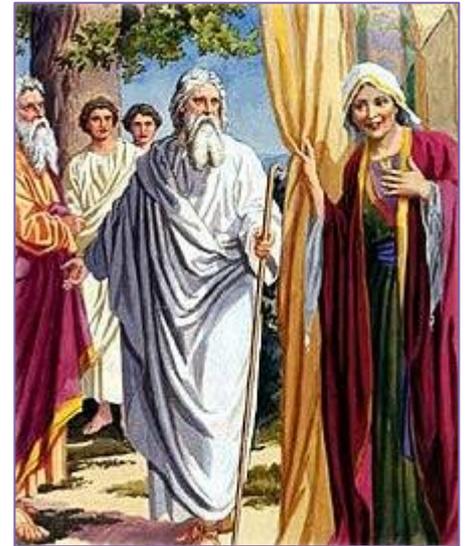
ポスターの印象とは少し違う長身の鈴木雅人さんは、白いカッターシャツに黒の蝶ネクタイ、赤色のブレザーといういでたちで私達の前に登場されました。コンサート会場とは違って窓が開け放たれた礼拝堂に心地よく響き渡る鈴木さんのテノール。 ビゼー作曲『Agus Dei』、マスカーニ作曲『Ave Maria』等数曲を熱唱されました。

讚美歌『心を満たして』の歌唱指導のもと、私達の歌声も鈴木さんの歌声と共に教会の庭に流れていきました。日本の歌曲も歌われ、中でも『沈丁花』は母を想う歌とかで、思わず私は亡き母と実家の庭に咲いていた沈丁花を思い出してしまいました。お母様の鈴木一恵姉の伴奏とも相まって素晴らしい賛美の時となりました。



## 「壁をこえて生きる私たち」

掛川菊川教会牧師 明比輝代彦



私たちは自由な存在でしょうか？

いろいろな壁によって閉じ込められているのが現実です。第二次大戦後、分断された東西ドイツは壁によって自由な往来を阻まれました。1989年11月に壁が開かれ、やがて破壊されました。

創世記16章に登場するハガルというエジプト人女性の一生は、波乱に満ち、壁に阻まれた人生でした。アブラムとサライ夫妻には、跡継ぎとなるこどもがいませんでした。サライにはハガルという仕え女がいました。窮余の一策として、サライはハガルを夫であるアブラムに与え、ハガルによってこどもを得ようとなりました。同じ屋根（テント）の下で、二人の女性たちの立場が逆転します。仕え女でありながら、アブラムの子を宿した事でハガルは傲慢になり、サライの怒りと妬みによって家を出、故国エジプトへの道を下ります。

外国人であるハガルの人生からメッセージを聴きましょう。

1. 選ばれた人も選ばれなかった人も、共に生きる世界です。国籍・民族の違いを超えて私たちは「神の子」です。
2. 環境の良し悪し、貧富の格差などを越えて、私たちは互いに助け合う存在として生かされています。
3. 教会員であれ誰であれ、すべての人が等しく神さまの御手に導かれています。

## オープンチャーチへどうぞ

大垣教会 田口和子

年始めの女性会で、オープンチャーチをすることが決定され、7月28日に開催いたしました。

2008年、2015年、50周年記念行事として開催されたオープンチャーチも3回目となります。

地域の人達が気軽に寄れるように、また「どなたでもどうぞ」という願いを込めて。

模擬店では、牛丼、冷やし中華、ジュースなどを販売。エプロン姿の男性会員やこども達も混じって楽しくお手伝いしました。

又衣服や雑貨などのミニバザーや、聖書のアニメなどを上映するコーナーも設けました。

子供コーナーでは、お手玉でペットボトルを倒すゲームや景品釣りゲームなど、10円で3回子供たちは何回も楽しんでくれました。

教会の親子サークルのメンバー、ご近所の人、また会員の知人やお孫さん達が来てくれました。

約5万円の売上は、会津放射能情報センターへ献金いたしました。オープンチャーチを通して地域の人達が、教会に関心を持ち、足を運んでくれる良い機会になると願っています。

※大垣教会では、収益金を教会のために用いるのではなく、外部に献金しています  
オープンチャーチを開催するにあたり、その都度献金先を決めているそうです。素晴らしいですね  
ご自分の教会でも何か取り組んでおられましたら、アガパンサスへ是非投稿して下さい。  
お声掛待っています。(A・O)

## 連盟から 皆さまへ

連盟会報に『みんなの声「ひろば」』を開設しました。

どうぞ用いられるようにお祈りください。

私たちは時折、信仰が弱くなってしまいます。そんな時ほかの方々からの、主にささえられたお話、導かれたお話などを聞くと強められます。連盟会報は年2回の発行ですが、主につながっている喜びを、わかちあうことができるものとなりますように。

※『みんなの声「ひろば」』に、お寄せいただく方法は会報157号11ページをご覧ください。



## 連盟第12回役員研修会 感想

2018年11月7～8日

片川三枝子

昨今、社会的にも問題になっている「高齢化」とそれに伴う人材不足。役員の手がいないという悩みを抱える我々女性会としては他人事ではないという危機感と、役員になった緊張感を胸に、役員4人参加した研修会でした。

そんな思いを胸にうかがった小勝奈保子牧師の講話でしたが最も響いたのは、【社会へ目を向けよう】というテーマでした。私達の若い頃とは違い、今の社会は情報が溢れています。

少子高齢化、老々介護、原発やLGBTなど、これまでになかったこれらの話題が、ニュースにならない日はありません。

「遠い話」「今さら・・・」と言わずに、このような時代だからこそ、様々な問題に耳を傾け、社会に目を向けることで我々女性会の意義や未来が見え、その先の世代に繋げていけるのではないかと感じました。

とはいえ、小さな私にはできることに限りがあります。

道に迷ったときには、やはり主に祈り、聖書をもう一度開いて与えられたお導きの下で生きていけたら、と穏やかな環境の中、あらためて勉強になった二日間でした。

最後に研修会開催にご尽力くださった修女会の皆様、小勝牧師、そして役員の方々に御礼と感謝を申し上げます。



(ナザレ修会 エピファニー館にて)

## 東海教区女性会 経過・予定

## 2018年

- 9月 栄光教会島田礼拝堂第1回集い・第5回役員会
- 11月 信徒大会(なごや希望教会)第6回役員会・クリスマスカード回収
- 12月 まきば・こどもの家クリスマスプレゼントお菓子&カード 36セット
- 12月 ディアコニアへ120枚クリスマスカード

## 2019年

- 1月 会計監査 監査員(大瀧姉・堀姉・坂井・片川) なごや希望教会於 役員会
- 2月 アガパンサス2号発行予定
- 3月 あゆみの家へ訪問予定 役員4名 役員会
- 5月 グリーングッズフェア・第2回女性会の集い・第7回役員会

# クリスマスプレゼント

12月21日それぞれの施設に皆様のお心を届けてきました。こども達はとても喜んで受け取ってくれました。ディアコニア入所の方々120名も笑顔で受け取って下さいました。

まきばの家

こどもの家

ディアコニア



ご協力ありがとうございました。

## 第2回東海教区女性会の集い

是非ご参加ください  
お待ちしております

2019年5月18日(土) 10時30分～

場所 : 高蔵寺教会

講演 : 内藤 新吾牧師

『いのちを愛し、平和を実現するために』

\*昼食後、高蔵寺教会女性会会員により演奏して頂く予定です♪

☆ 皆さんと交わりの時も楽しみにして下さい ☆

### ❖ 編集後記 ❖

10月島田礼拝堂での第1回女性会の集いではご近所からの参加もあり多くの方々に会場が一杯になりました。今回のアガパンサスは集いの感想を5名から寄稿していただきました。皆様の祈りと共に、神様から力を頂き2号を発行することができました。役員一同感謝します